

南日本新聞の「若い目」に、本校生徒が掲載されましたので紹介します。

ひろば 若い目特集

重量挙げと出会い心身共に成長

薩摩中央高2年

宮之下天麻

入学した高校には中学まで続けていた陸上部がなかった。誘われたのがウエートリフティング

時の爽快感だ。自分自身との地道な戦いを、監督と部員が励まし支えてくれる。昨年の大会は標準記録に届かず、九州大会出場を逃した。

部。「頑張れば県外の大きな大会に出場できる」。この言葉が決め手になった。

重量挙げの魅力の一つは、過去の自分を越えた

7月の三重国体の予選。部から僕を含む2人が代表に選ばれた。県代表として、県外の大きな大会に初めて出場できることがうれしくて、僕も

家族も楽しみにしていた。国体が中止になり本当に落ち込んだ。それでも毎日練習を続けた。今月、鹿児島で開催される九州大会の出場を決

めた。新聞に名前が載り気分が上がった。勉強との両立も大変で、練習や食事トレーニングが苦しいと感じる時もある。でも重量挙げと出会い、肉体的にも精神的にも成長できた。部の仲間と一緒に高い目標を持って挑戦し続けたい。(さつま町)

